

死亡災害発生状況

平成26年

(死亡災害速報による)

	発生日	業種	事故の型	起因物	発生状況
1	3月	畜産・水産業	激突され	フォークリフト	フォークリフトを使用し大型トラックから荷卸作業が終了した。その後、フォークリフトの運転席から離れ大型トラックに近づいていたところ、作業面が傾斜であったため、フォークリフトが動き出し、大型トラックとフォークリフトにはさまれたもの。
2	5月	土木工事業	墜落・転落	クレーン	治山工事において被災者は、親綱設置杭に安全帯を取り付け、転石破碎作業を実施していた。別の作業班がケーブルクレーンの入替作業を実施していたが、ケーブルクレーンの横行索が親綱設置杭に引っかかり親綱を吊り上げたため、親綱とともに転落したものの。
3	6月	土木工事業	飛来・落下	掘削用機械	ドラク・ショベルで掘削作業中、掘削箇所のコンクリートがらが落下し、近くにいた被災者に落下したものの。
4	6月	商業	交通事故(道路)	トラック	自転車で新聞配達中、交差点でトラックと衝突したものの。
5	7月	商業	交通事故(道路)	トラック	自転車で新聞配達中、国道を横断中にトラックと衝突したものの。
6	7月	林業	飛来・落下	立木等	チェーンソーを用いて杉の間伐作業中、立木を伐倒後、当該木の下敷きになり死亡したものの。
7	10月	土木工事業	崩壊・倒壊	地山	土砂採取場で油圧ショベルで土砂を採取し、トラックに積み込む作業中に、後方の土砂が崩壊し油圧ショベルごと埋まり死亡したものの。
8	11月	林業	飛来、落下	立木等	高さ17mの立木を伐倒作業中、チェーンソーで直径の半分程度まで追口を切ったところ、幹が約4.2mの高さまで割け上がり、折れて落下し当該木の下敷きになり死亡したものの。
9	11月	林業	激突され	立木等	立木の伐倒作業中、コナラの立木を伐倒したところ、かかり木となったため、隣のスギを伐倒しコナラに当てて倒そうとした。ところが、スギも同様にかかり木となったため、最初にかかり木になったコナラの根元を切断中にスギが落下し被災者に激突し死亡したものの。
10	12月	土木工事業	激突され	移動式クレーン	小型移動式クレーン(クレーン機能付ドラグショベル)を使用して、コンクリートブロックの設置作業中に、つり荷のブロックと既に設置してあったブロックとの間に挟まれ、死亡したものの。